

第8回『席を譲ったけれど』

第8回目の道徳では、お年寄りに席を譲ったら、「ふざけるな!!」と言われてしまった中学生の話から、思いやりの心をもって他者と接することについて考えました。あとの意見にも出てきますが、人って難しいですね。それぞれの価値観がありますから、自分は親切だと思っても、他者にとっては大きなお世話だということもあります。今回も一部になってしまいますが、みんなの意見を紹介します。

みんなの意見

今日の授業で学んだことや考えたこと

- 人に優しくしてもその人は嫌がるかもしれないから、まずは聞いてみたらいいと思うし、聞くって大切だと思いました。
- 人は難しいなと思った。親切にしてるのに怒ってくる人もいるし、人は難しい。
- 言う側も考えて言わないといけないし、言われる側も答え方を変えたらいいと分かった。
- ただ親切にするのではなく、相手の気持ちを考えて行動しないとイケないのが分かった。
- 尋ねてからやったほうが相手のためにもなるし、自分も嫌な気持ちもなくなるし、これからは尋ねてからやろうと思った。
- 自分の優しさが他人にとってはおせっかいだったりすることを学んだ。
- その人の気持ちになって、困っているかなとか考える。どうぞじゃなくて、「わかりますよ」みたいに優しく尋ねたいです。



**“思いやりの心”をもって
他者と接するとは？**